

第53回



ISHO VIETNAM

ISHO VIETNAMは、日本の名古屋市に本社を置く株式会社伊昭の初の海外子会社として2012年12月に設立されました。

株式会社伊昭は、板金加工を専門に行う企業として50年以上の歴史があり、ISHO VIETNAMは、これまで日本で培った経験と技術を海外展開し、ベトナムで地場企業に対して、日本と同様の板金加工技術を提供するために設立されました。

今回はそんなISHO VIETNAMの吉良テクニカルダイレクターとNguyen Thanh Hai工場長にお話を伺ってきました。

●事業内容  
板金加工

●ISHO (Vietnam) Co.,Ltd  
Lot B - 3B17 - CN, NE5A&DE4 Street, My Phuoc  
3 IP, Ben Cat Dist - Binh Duong,  
ホームページ:<http://www.ishovn.com/>

●日本本社  
株式会社 伊昭  
愛知県名古屋市港区11屋1丁目11番地



一進出の経緯についてお聞かせください。

弊社の親会社であります株式会社伊昭は、1959年の創業で、50年以上に渡り板金加工業を営んでおりまして、板金加工に関する経験とノウハウが蓄積されており、この財産を国内だけではなく、海外でも生かせないかと考えておりました。

そんな中、本社で8年ほど前からベトナム人研修生を受け入れておりまして、現在6期生が日本で研修していますが、彼らが帰国後にせつかく日本で3年間研修した技術を生かせる職場がないという話が聞かれるようになりました。

そこで、日本で研修した研修生が研修で学んだことを生かせる場所として、更に本社で培った技術とノウハウを発揮し、

現地の企業様に貢献するため、ベトナムへの進出を決めました。

弊社の研修生には、南部出身者が多かったこともあり、2011年に南部を中心に進出の可能性を調査を行い、重量機械の設置にも耐えられる地盤の固い場所としてこのミーフック3工業団地を選定しました。

その後、最終的な調整を行い、2012年に無事に法人ライセンスを取得し、翌年8月には工場完成、10月から営業開始という運びとなりました。ベトナム進出に関しては、ライセンスや工場建設なども非常にスムーズに行うことができ、特にトラブルなどはありませんでした。

弊社では、事業開始にあたり、工場長を現地で募集し、現在のHai工場長を採

用することができたのですが、彼は日本に7年年間滞在した経験があり、またベトナムでの長年日系企業で働いた経験がありますので、日本人の考え方とベトナム人の考え方両方に精通しており、更にベトナムの労務・法律などにも詳しく、立ち上げから現在まで事業を運営していくにあたって非常に役立つもらえました。

一業務内容について教えてください。

弊社の業務内容はいわゆる板金加工と言われるものです。

具体的に申しますと、鉄、アルミ、ステンレスなどの板を切断したり、曲げたり、溶接したりして、お客様の要望される形に仕上げることです。

板金加工というのは非常に幅広い分



レーザー加工機



プレス加工



工場の様子



野の産業に関わりのある業務です。

例えば、作業台やベンチ、テーブルといったものも板金加工で製造されていますし、パソコンや複合機の躯体にも利用されていたり、工作機械、飛行機、原子力発電の部品にも板金加工製品は使用されています。

弊社では、お客様のご要望に応じて1個、2個といった少量から日本品質の板金加工製品をご提供させていただいています。

現在工場には、日本で使用されているのと同様の2012年モデルのドイツ製のレーザー加工機を始め、3,000mmのプレスブレーキ、日本製溶接機械など、日本と同様の品質を再現できる新型の機械を導入しています。

弊社のレーザー加工機は、スチールの場合、厚さ20mmまで、ステンレスでも厚さ12mmまで切断が可能です。また、大きさも手のひらサイズのものから最大で3,000mmまで対応可能ですので、幅広いご要望に対応が可能です。

また、日本の品質を維持するために材料の取り扱いにもこだわっています。ベトナムでは材料の扱いがぞんざいな販売店が多く、フォークリフトなどで表面に傷がついた材料などが当たり前のように流通していますが、弊社ではそのような材料を使用せず、きちんとした材料を納入できる業者とのみ取引しており、社内でも材料の運搬時にはエアバキュームを使用するなど品質の維持に取り組んでいます。

ベトナムへ進出される日系企業様の場合、日本の本社へ製品を輸出する輸出加工型の企業様が多いかと思いますが、弊社の場合は、完全にベトナム国内向けのサービスとなっております。

一ベトナム人スタッフについてはどのように評価されますか？

現在、弊社の従業員は、26名で事務職などの4名の女性を除き全員が男性です。また、このうち4名が日本本社で研修を経験したスタッフで、現場のリーダーとして、現地スタッフの指導に当たってくれています。勿論技術的には3年間で十分というわけではありませんが、少なくとも3年間日本で研修した知識と日本企業の仕事のやり方を理解しているスタッフがいますのといかないのでは大きく違ったであろうと思いますし、その意味では、非常に助かっています。

ワーカーの採用に関しても、工場の入り口の守衛室の前に簡単な張り紙をするだけで、1週間に20人程度は応募者が集まりますので、採用に関する苦労はあまり感じていません。

採用する際には、面接の段階から、会社の方針や業務に関して詳しく説明を行い、やる気のある真面目な人材を採用するように心がけています。また、入社後もまず、社員教育を行い会社のルールや業務に関して十分に納得させてから配属させるようにしています。其のお陰かこれまでの1年間で辞めた人間は3人だけと離職率もそれほど高くありません。

ベトナム人は真面目で熱心な人が多いとも感じています。

一ベトナムで事業を行うにあたって苦労されたことなどありますか？

これは、たまたま弊社が運がよかったのだと思いますが、これまでこれといったトラブル無く事業を進められています。スタッフもHai工場長をはじめ、日本で研修した研修生が中心となって指導に当たってくれていますし、採用も募集をかければ集まりますので特に困っていることは今のところありません。今後の課題と



作業風景

しては、弊社の存在をベトナムにある日系企業をはじめあらゆる企業様に知っていただき、活用していただくために営業・広報活動を積極的に行っていく必要があると感じています。

一METALEX展示会への出展に関してお聞かせください。

現地での広報活動の一環として10月に開催される、METALEX VIETNAM 2014に出展を予定しています。

展示会では、弊社の製品を展示しておりますので、板金に関するお困りごとなどございましたら、お気軽に弊社ブースにお立ち寄り頂きまして、ご相談を頂ければと思います。

一今後の展開について教えてください。

弊社は、ベトナムで日本品質の板金加工業務をご提供し、各ベトナムの各企業様の事業の発展に貢献していきたいと考えています。製造設備も日本と同等の設備を導入していますし、日本人技術者が2名常駐しており、技術の向上に努めています。

今後は、ベトナム国内での弊社の認知度を向上させる活動に力をいれ、弊社の存在を知って頂き、板金加工のことならISHO VIETNAMと皆様におっしゃっていただける企業を目指したいと考えています。

一ありがとうございました。



ISHO VIETNAMの製品